

今按此神は三島大神の後佐伎多麻比咩命の生坐る御子なること三宅記に七をばカタスケと有にて明かなり

祭日

社格

所在 (伊豆國三宅島神着村御笏神社境内) 三宅島神着村

今按豆州志片瀬村にます今八幡と稱すはスケの反也とあれども三宅記に三島の神の御子神七柱のことを云て七をばカタスケと有ば此島に鎮座なること疑なし式社攷證に神着村の東方二十許町畑の稱號にカサスケと云處有て其西上にカツツノ森と云有舊カツツノ神社と云有たる由今礎島井等存りたるは決めて片菅命神社なるべく聞えたりと云るもの其本社なるべきこと互に證すべし

久良惠命神社

祭神 久良惠命

今按この神も佐伎多麻比咩命生坐せる八柱の御子神の一にして三宅記に六をばクライと有を以て久良惠命なることを知べし

祭日

社格

所在

三宅島

今按式社考證に此處の濱を久良濱と云出崎を久良濱と云此に一つの森有て久良濱の神社とも久呂明神とも稱る社

有古昔村の有し時の産土神なりと云傳へて衰替の小社なれ共此社に對して古木森々たる峯巒あるを高山とも神山とも唱へて舊社地と云傳へたるとく明神と稱來れるもの證とすべしと云るが如く明證あれば之に従へり

夜須命神社

祭神 夜須命

今按此神も佐伎多麻比咩命の生玉へる八柱の御子神の内なること三宅記に三をばヤスと有るにて著きを思ふべし

祭日

社格

所在

今按式社攷證に此神三宅島鎮座なること疑なけれど未確定せず伊豆村嶽が平と云山に嶽が平明神と云ありて一説に夜須命を祭ると云ひ亦坪田村にも御嶽社と云有て同神を祀れる由云れど證なければ定め難しと云るを後に註進せる考證には加茂郡三島鎮座と定めて記せるは誤りなるべし

奈疑知命神社

祭神 奈疑知命

今按伊豆神階帳に從四位上なつひめ明神あり奈疑知の疑の省かり知の津と轉したる稱と聞ゆ村名の奈波知も奈疑

所在 (三宅島坪田村大字小倉山) 三宅島神着村

氏良命神社

祭神 氏良命

今按此神三島大神の後佐伎多麻比咩命の生玉へる御子なること三宅記に四をテライと有にて明かなり

祭日

社格

所在

今按式社考證に此神三宅記に四をばテライ一本ニと有神と聞ゆれば此島鎮座なること論無れど未詳伊豆村神山にていの天神ありて小社なれど舊社とみえ祠内に神鏡八十三枚安置ある由ありと云ひ又内地賀茂郡二條村に氏良山氏良野氏良ヶ谷戸と云地名ありて此處に山神と云ふを其當社也と云説あり古社とも見えざれど早く東鑑に伊豆國寺宮莊と云あるは氏良命を遷祀れるより負る名ならん亦同郡中村に八王子社と云小祠ありて其邊の地名を氏良と稱へ來れるは若くは八王子の内の氏良命を遷祀れるに因れるなるべしなど云れど一定の説なければ今決め難し

許志伎命神社

祭神 許志伎命

祭日

社格 (村社)

伊豆國 賀茂郡

知の轉訛なること互に證すべし又ナツヒメ明神の奈疑知命より外に當べき神なきと子安明神と云ひて安産を祈るにても此神の姫神にますことを知るべき也而るに此神を夜須命に當たるは此社の舊祠にして所由有る神と思はるゝと子安神稱に因たると聞ゆれど彼神は佐伎多麻比咩命の御子にして島内鎮座の神なるは更也八王子とも稱して男神なるに此神の姫神なるに合はざるを以て非説なるを知べし

祭日

社格

所在 (明細帳に子安神社とあり祭神奈疑知命)

加彌命神社

稱二宮

祭神 加彌命

今按此神も佐伎多麻比咩命の生玉へる八王子の内にして三宅記に二をばカネとみえたれば三島神の御子神に坐ること著し式社考證に今三宅島神着村の東方二十許町二宮と云ありて加彌命を祀れる由云傳へたるも弟二の御子なる故二宮と唱へ來れるものなるべし神名の彌は加彌の誤寫ならむも知べからずと云るが如く三宅記と今稱とによるに加彌命なるべし

祭日